

## 令和2年度第3回学校運営協議会

今年度3回目の学校運営協議会を1月27日（水）に開催しました。

### 【話し合われたこと】

#### 1 令和2年11月から令和3年1月までの学校運営総括及び令和2年度学校運営自己評価について

\*校長・教頭からの説明後に質疑応答

委員： 児童生徒のアンケートの結果、項目4と5の高学年が低い。分かる人は自分なりにやっていくだろうが理解が低い子どもの底上げを図るためにしっかりと取り組みを行ってほしい。



教頭： タブレットを使った学習はその子どもの能力に応じてできるようになっているので、それを活用させたい。また、自分で自分の力に応じた学習ができるような力をつけさせていくための手立てをとっているところなので、そういったことを継続していきたい。

#### 2 令和3年度学校経営方針案について

\*校長からの説明後、質疑応答

（承認については第4回で行う。それまでに意見を頂き、改善を加えていくことを確認した。）

#### 3 その他

##### (1) 令和3年度 新庄市防災訓練について

\*校長からの、現時点での構想説明後、質疑応答

委員： 豪雨災害などが実際にあったが、川の氾濫で学園に来られなかったということがあった。引き渡しなども実際にやってみるのは意義がある。

委員： 消防団の活躍を子ども達に見せることができるとよい。また、ITCCの報告では水害、大雪、地震など大規模災害が多くなっていくことが予想されているので、ぜひやってほしい。

委員： 消防団が他に行ってしまい地域にいないという想定で、地域組織での活動訓練を行っているが、地域はまだまだ防災意識が低い。そういったことから、あまり期待しすぎないようにしないといけないかもしれない。防災訓練は必要なのだが、ショーのようになってしまっているところもある。もっと泥臭いことだと知ってほしい。

校長： 防災意識が高い方ばかりではないことを考えても、全地区でできなくても、どこかの地区でやってほしい。子どもがやれば、大人も動くので地区内に防災意識がだんだん広がるきっかけとしたい。

学校として絶対にやりたいことは、避難所開設訓練である。初日は市役所職員だけでなく、学校職員ができることをやるが、だんだん市役所職員にその運

営を移行していくようシステムを構築しておかないと、実際の災害で困ってしまうのでしっかり考えておきたい。

(2) その他学校教育活動等に対する運営委員からのコメント

委員： 市防災訓練の時、自衛隊が入ると良い。アルファ米を焚いてみるとか。

委員： コロナ禍の中で、避難所開設がやっていけるのかと危惧している。市長とも話したいと思っているがなかなか進まない。参加についても30数%。まずは地区で自主防災組織があるかを区長に聞いてみてほしい。また、地域の住民の意識があまり高くない（断層があると言っても高まらない）ので、ぜひこの訓練はしっかりやっていきたいし、区長の言葉も聞いてみたい。

委員： 地区防災訓練の2つのねらいについて、子ども達が主体的に取り組み、総合的な教育ができる。地域学校連携協力の大きな一歩となることを期待したい。

学校評価の子どものアンケートに関して、自己肯定感や生活習慣・生活リズムは学校だけでなく、地域みんなで行っていくもの。安心安全な土壌作りと大きくかかわっていると思う。安心安全、自己肯定感などの高まりを図り、学校教育目標の達成に近づけていけるようにしていきたい。現在は目標の達成度が低いので、自分も何とか力を注いでいきたい。

委員： 市防災訓練の構想ではたくさん内容があるが、これが全部実現できたらなと思う。大きな災害が増えている中で、子ども達がこのようなことを訓練経験しておくことは大事だと思う。とっさに行動できるようにするには、様々な訓練体験が必要で、それらをベースにして、子ども達に考える力をつけることができる。消防団のない私の地区では、バケツに水をくんで行うというようなこともあったが、消化器なども触ったことがない子ども達にはできるだけさせていきたい。

部活動加入の表の見方について教えてほしい。

校長： 表の見方について説明。

委員： 校長先生の総合防災訓練に対する熱い気持ちを感じた。私の地区の消防団員は生き生きと活動している。そのような活動が地域の安全を支えている。けが人が出たという設定で、それぞれの生徒にトランシーバーを持たせてさせてみるというように、子ども達のポテンシャルを見てみるということも一つの手だと考える。子ども達が何を考え、どのような行動をおこすのかというのを見てみたい。

校長： HUGがちょうどこの取り組みである。

委員： 市役所職員も実際に動くものの、避難所には多くて2人が最初に行ければいい方と言われている。初動の運営は、地域や学校職員などの手を借りないといけないので、そういうことをしておくことは必要。子ども達が本気で取り組んでいるカッコいい大人の姿を見ておくことは意義がある。HUGの新庄バージョンがある。

委員： バスに乗り遅れた息子を送ってきた。しかし、正面玄関から入ってくる車があった。スピードも出ている。もっときつく注意してもいいのではないかな。



今年の卒業式はどういう流れになりそうか。ライブ配信などはできるのか。

校長： 市の教育委員会からの指示がまだはっきりしていないが、各家庭2名、1時間くらいでという指示を受けている。顔を映して公開できないということもある。その場で歌うのは難しいが、予め録画したものを映す予定。子ども達に見せる時間はつくれる。9年生の保護者にもお見せできる。

委員： 校長先生の市防災訓練私案はよいと思う。子ども達が興味を持って、周りに誰もいない時にやってみようかという意識づけができればいい。

委員： 萩野小学区で以前やった時に、地域や様々な年齢の人がどんなことができるのかを考える機会になった。防災組織がない地区では、そういったことを考える機会になると思う。

学校目標で、一人も取り残さないようにしてほしい。多様性のあるお子さんもいるだろうができるだけ対応してほしい。

委員： 4年度以降についても、学校で行う避難訓練に、3年度の防災訓練の取組を活かしてほしい。

子どもに関する検査資格を得るのは個人負担になっている。検査後の負担などかなり大きい。

いじめの解消について今後も頑張してほしい。

委員： 学童では、避難訓練の際に大きな消防車や訓練の様子を見たことがあった。実際に見ることが大事で、このような大がかりな訓練を見ることができるのは貴重な体験である。学校施設に付随している学童だが、なかなか避難訓練ができずにいた。学童も参加していきたい。

コロナ対策について、以前は共用コップで水分補給をしていたが、今はやっていない。学校では蛇口を上にあげて飲んでいることを聞いているが、どんな状況か。

教頭： 水筒は持ってきているが、中身がないと蛇口から飲んでいる。

委員： 蛇口に直接口をつけて飲む子どももいるかもしれないので、注意してほしい。

委員： 部活動の在り方も変わってきていて、地域スポーツクラブに替わっていくがなかなか指導者がおらず困っている。資格を持っている人がいない。部活動については今後も課題になっていくと思う。

委員： さくらネットワークとは何か。

校長： 警察とした連携した防犯ネットワークで、本校では「さくらネットワーク」と呼んでいる。2カ年で実施しているが、来年度もどうかと言われている。

